

# 家庭学習のてびき

～自ら学ぶ子をめざして～



小学校では、社会人として自立していくための基礎となる力をさまざまな教科や道徳、特別活動、行事などを通して学習しています。そして、毎日の宿題として「音読・漢字（ひらがな）・計算」などの基本的な課題を出し、学力の定着に努めています。更に中学校では、自分で予習・復習し、計画的に学習する力が求められます。自分で学習する力をつけるためには、小学校の時から家庭学習として宿題と自主学習の力をつけることか□とても重要になります。そこで、宿題以外にも自分で自主的に学習する習慣を身につけてほしいと考え、「家庭学習のてびき」を作成しました。

## 【内容】

自主学習の内容については、冊子に詳しく書いているので参考にしてください。

## 【時間のめやす】

毎日、低学年（1・2年）は宿題＋自主学習10分程度

中学年（3・4年）は宿題＋自主学習20分程度

高学年（5・6年）は宿題＋自主学習30分程度

是非、お子さんと一緒にご覧いただき、自主学習に取り組めるよう、ご理解とご協力を  
よろしくお願い致します。

箕面市立豊川北小学校

# 低学年(1・2年生)

## 特徴

### 低学年は

#### ■基本的な学習習慣を身につけよう

「早寝早起き」「規則正しい食事」など、基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着に欠かせません。

また、家族の助けを借りながら、学校での学習の復習をしたり、覚えるまで教科書を繰り返し読み返したり、絵本や教育テレビの番組を見たり、野原で野草を探したりと、家庭で学習する楽しさを実感してほしいときです。

小さなことでも、できたことをほめられることで、どんどん興味・関心が広がり、意欲も高まる時期です。

## 学校

### 学習の特徴

#### ■基礎・基本をていねいに学習します

- 45分を1時間とした授業の中で「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力がつく学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「次の授業の準備をする」「チャイムで行動する」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。
- どの教科でも、自分で考えたり友だちと考えを交流しながら学習をすすめます。

## 家庭

### おうちで応援していただきたいこと

#### ■子どもの学習を見守りながら、やる気を育てていきましょう

- 学習時間を決めて、毎日の宿題を最後まできちんとできるようにさせましょう。
- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強をする場の整理整頓をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の準備などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- いっしょに買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。
- 子どもの興味や関心、学年に応じた絵本などをまわりにおきましょう。読み聞かせをしてあげることも大切なことです。

# 自主学習で勉強すること

1・2年

## 1 音読(声に出して読もう)

○短い文やお話、詩を声に出して読み、覚えましょう。

## 2 文字の練習

○ひらがなでしりとり遊びをしながら、読んだり書いたりしてみましょう。

○かるた遊びで字を覚えましょう。

## 3 日記・作文

○家や学校であったことを絵にしたり文章に書いたりしましょう。

## 4 読書

○学校や地域の図書館で本を借りて読みましょう。

○家の人と交代で読みあったり、気に入ったところをお話したりしましょう。

## 5 計算練習

○合わせて10になる数を言ったり書いたりしましょう。(1年)

○足し算引き算を、指を使わずに言えるよう何度も練習しましょう。(1年)

○九九の暗唱ができるように練習しましょう。(2年)

○百ます計算をしてタイムも計ってみましょう。(1・2年)

## 6 その他

○まちがえた問題を練習しましょう。

○時計が読めるように練習しましょう。(1・2年)

○大きな数を正しく読んだり書いたりする練習をしましょう。(2年)

○物差しを使って、直線を引いたり、長さを測ったりしましょう。(2年)

○上に書かれていない学習を自分で考えてやってみましょう。

## 中学年(3・4年生)

### 特徴

#### 中学年は

##### ■ 自立心が芽生え、「やる気」と「根気」が育つ時期

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになるといわれています。「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識をもつ子どもも出てきます。自信を持たせたり、意欲を膨らませたりするような励ましが大切です。

### 学校

#### 学習の特徴

##### ■ 学習する内容が大きく広がります

- 総合的な学習の時間や社会・理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算(＋・－・×・÷)の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- どの教科でも、課題を発見し、自分で考えたり友だちと考えを交流しながら、問題解決を図る形の学習を行います。

### 家庭

#### おうちで応援していただきたいこと

##### ■ あたたかい励ましがやる気を育てます

- 家族のあたたかい助言や励ましの言葉がやる気を育てます。まだまだ、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けも必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけさせることが大切です。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ずやりきらせましょう。また、学校からのお便りを保護者に手渡す習慣をつけましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験を子どもと一緒に行いましょう。

# 自主学習で勉強すること 3・4年

## 〈国語〉

- 今までに習った漢字を熟語や文にしてノートに練習しましょう。
- 同じ部首の漢字の仲間調べをしましょう。
- 漢字テストで間違えた字を練習しましょう。
- 国語辞典を使って意味の分からない言葉を調べてノートに書きましょう。
- 教科書の文や詩、お話などをノートに写したり、文や言葉をかたまりごとに見て書き写したりしましょう。
- その日の出来事や、考えたこと、調べたこと等について書きましょう。題名をつけ、ならった漢字を使って書きましょう。
- いろいろな種類の本を読みましょう。

## 〈算数〉

- かけ算やわり算などの計算の順序が身につくように、毎日練習しましょう。
- その日に勉強したところを家でも練習し、間違えた問題を何度も練習しましょう。
- コンパス、三角定規や分度器などが正確に使えるように練習しましょう。
- 目標タイムを決め、100ます計算にチャレンジしましょう。

## 〈理科・社会〉

- 教科書を読んで、予習・復習をしましょう。
- わからないことや面白そうだなと思うことを地図帳や事典、インターネットで調べてノートや新聞にまとめましょう。
- 自然に触れる体験、地域社会や文化や産業に触れる体験をしましょう。

## 〈その他〉

- 家にある問題集をしましょう。
- 上に書かれていない学習を自分で考えてやってみましょう。

## 高学年(5・6年生)

### 特徴

#### 高学年では

##### ■ 自学自習の習慣を身につけよう

生活のリズムの乱れは学習にも影響を及ぼします。もう一度、生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

考える力が大人並みになり、自我が目覚め自分の考えを強く主張するようになります。何事も自分で取り組む意欲を育てるためにも、自主性を尊重しつつ、必要に応じてサポートするというように周りの大人の関わり方がとても大切になります。

### 学校

#### 学習の特徴

##### ■ 論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増える

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事をみる力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを体験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。
- どの教科でも、課題を発見し、自分で考えたり友だちと考えを交流しながら、問題解決を図る形の学習を行います。

### 家庭

#### おうちで応援していただきたいこと

##### ■ 子どもが自立できるよう、はげましてあげましょう

- 学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。
- 「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情や自己有用感を育てるように、認めて・ほめて・はげましてあげることが大切です。
- 家族の一員として役割を決め、家の仕事の分担をすることも大切です。家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

# 自主学習で勉強すること 5・6年

## 〈国語〉

- まだ勉強していないところの音読や気に入った詩や文の暗唱・視写をしましょう。
- 漢字テストで間違えた字を練習しましょう。新出漢字を使った様々な熟語を見つけ、文づくりをしましょう。同じ部首の漢字の仲間調べをしましょう。
- 国語辞典を使って意味の分からない言葉を調べてノートに書きましょう。
- 身近な言葉や題材をテーマにして、作文(100文字くらい)を書きましょう。
- その日の出来事や、考えたこと、調べたこと等について書きましょう。題名をつけ、習った漢字を使って書きましょう。
- いろいろな種類の本(歴史・伝記・教科書に出てきた作家等の本)を読みましょう。

## 〈算数〉

- 新しく学習した内容の要点をノートにまとめましょう。
  - ・公式、計算方法、赤線を引いた文の視写
- 授業などで分かりにくかった問題を写して、ノートにもう一度しましょう。
- チャレンジ問題をしましょう。

## 〈理科・社会〉

- 教科書を読んで、予習・復習をしましょう。
- 学習したところを2~3回音読し、要点をノートにまとめて書きましょう。
- 図や表等から分かったことをまとめて書きましょう。
- わからないことや興味あることを地図帳や事典、インターネット等で調べてノートや新聞にまとめましょう。
- 興味を持ったことの観察・実験をしましょう。(理科)
  - ・何のための実験か、どのような方法で実験をしたか、どんなことが分かったかをノートにまとめましょう。
- 自然に触れる体験、地域社会や文化や産業に触れる体験をしましょう。

## 〈その他〉

- 学習したことに関係のあるまたは興味のある記事があれば切り抜いてノートにはったり、まとめたりしましょう。
- 家にある問題集をしましょう。
- 上に書かれていない学習を自分で考えてやってみましょう。